



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
令和3年6月30日

雲の隙間から照りつける日差しが段々と眩しくなり、夏の気配が感じられるようになりました。プールや七夕と楽しいことがたくさん！いよいよ夏本番です。

今年度も、幼稚園では、6月25日(金)に大國魂神社の神主さんにおいでいただき、さくら組の子どもたちと「プールで怪我をしないで楽しく遊べますように」と安全祈願をし、プール開きを行いました。水あそびは、心身ともに解放感を味わえます。暑い時には、水に触れることで、涼しく感じることに気づき、水が流れたり、跳ねたりする感触は、体の感覚を豊かにします。少しでも水に親しめるよう、ご家庭でも顔を洗う時やお風呂に入る時にチャレンジしてみてください。晴天の日は、できるだけ水あそびを楽しみたいと思っております。

さくら組の子どもたちは、ゴムで引っ張る飛行機を作ったり、射的あそびをするために弓を作ったり、ペットボトルのキャップをタイヤにして車を作り、好きな廃材を選んで車の車体にしたりと制作あそびを楽しんでいる姿が見られました。

すみれ組の子どもたちも、カエルの音が出る制作に取り組みストローを上下に動かして楽しんだり、音が出ないお友だちに「こうやるんだよ！」と教えてあげたりしている姿も見られました。また、広告紙を丸め、好きな色で包みアイスクリームを作ったり、模様のついた折り紙を小さく切ってトッピングをしてコーンにのせると「おいしそう！」と喜んで遊んでいる姿が見られました。

ばら組の子どもたちは、雨の日に新聞紙あそびをして丸めた新聞紙を半紙に入れててるてる坊主を作りお部屋に飾りました。顔を描いたり色水で染めた作品は素敵に仕上がりに満足している子どもたちの姿が見られました。

もも組の子どもたちは、シャボン玉あそびをしたり、小鳥を追いかけて走り回ったりと元気いっぱい楽しんでいる姿が見られました。また、ミニトマトやきゅうりの生長を観察して、「トマトは赤くなると甘いんだよ！」と話しているお友だちもいました。

さて、もうすぐ「七夕」です。七夕は、天の川の橋を渡って織姫と彦星が一年に一度だけ会うことを許される日です。星座で言うと、織姫はこと座のペガサスそして彦星はわし座のアルタイルです。この二つの星は旧暦の7月7日の天の川を挟んで最も光り輝いて見えることから、七夕の物語が生まれたと言われていています。七夕の夜、お子様と一緒に伝統の星を探してみるのも素敵ですね。

もうすぐ夏休みです。親子の時間を大切に、夏休みにしかできない経験を十分に楽しんで下さい。また、外出する際には、くれぐれもコロナウィルス感染症に気をつけ行動をしてくださいますようよろしくお願い致します。2学期には、より遅しくなった子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

体調や怪我に気をつけて、素敵な夏休みをお過ごし下さい。

吉竹 芳江